

事務事業名	スポーツ推進委員活動事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係		
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～				☒ 総重（総合計画重点事業） ☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 総新（総合計画新規事業） ☐ 戦新（総合戦略新規事業）	
施策名	6	生涯スポーツ・レクリエーションの振興						
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 毎年度実施（開始年度 昭和44 年度～） ☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	スポーツ基本法（第32条）、真岡市スポーツ推進委員に関する規則							
予算科目	1.一般会計	10.教育費	5保健体育費	1保健体育総費				
予算科目								
予算科目								
事業概要	昭和44年4月1日真岡市体育指導委員に関する規則を制定、委員30名以内、任期は2年（R6. 4. 4. 1～R8. 3.31）となる。 平成23年度に名称が、体育指導委員からスポーツ推進委員に変更となる。 スポーツ推進委員は、スポーツ振興のため、住民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導、助言を行うものとする。 スポーツ推進委員の各種研修会・講習会・大会等への参加派遣。スポーツの実技指導、スポーツ活動促進のために組織の育成を図ること、また様々なスポーツ行事または事業に関し協力することがスポーツ推進委員の主な職務である。 報酬（1回あたり8,500円） ※R4:1,955千円 ⇒ R5:1,853千円 △102千円							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）				④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
5年度実績 定例・月例会議（5回） ニュースポーツの普及・講習会の実施 芳賀地区スポーツレクリエーション祭 真岡井頭マラソン大会競技補助 はが路ふれあいマラソン競技補助 各種スポーツの研修会・講習会・教室等の参加 6年度計画 前年度と同様				名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア 会議、研修、講習会等の回数	回	8	17	23	33	35
				イ 報酬	千円	655	918	986	1,343	1,853
				ウ						
				エ						
				オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 スポーツ推進委員				⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
				名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア スポーツ推進委員数		30	30	30	30	29
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） スポーツ推進委員が職務を行う上での資質の向上とスポーツに関する行事等への協力参加を高め、真岡市のスポーツ振興を図る。				⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)
				ア 会議、研修、講習会等の延べ参加者数		102	219	233	323	350
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
② 総事業費の推移				単位	2 年度(実績)	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	797	1,119	1,152	2,409	3,057	
	事業費計（A）			千円	797	1,119	1,152	2,409	3,057	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 市のスポーツ振興に結び付く。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) スポーツ基本法に基づき、スポーツの指導を行っている。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 生涯スポーツの振興を図っている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある (評価理由) 市民の運動習慣の定着を目指し、スポーツ振興のため、スポーツ推進委員の研修会、講習会等の活動に積極的に参加している。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☐ 類似事業と統合・連携ができる (類似の事務事業名：) ☐ 類似事業と統合・連携できない (類似の事務事業名：) ☒ 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 報償費のみであり、これ以上の削減はできない。 活動のための必要最小限の経費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（☐：目的妥当性 ☐：有効性 ☐：効率性） ☐ 統合 ☒ 継続 スポーツ推進委員が職務を行う上での資質向上とスポーツ行事への参加を高め、真岡市のスポーツ振興を図るため、必要な活動経費である。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 課題、課題の克服の方向性 委員の高齢化や人材不足が課題となっている。																						

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足(説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																						